

令和7年6月19日（木曜日）

日田市立東溪中学校の授業です。

授業の単元は、第2学年「連立方程式」。係数に小数や分数を含む連立方程式の解き方を考察し表現する場面です。

導入では、前時までの学習内容である加減法や代入法を確認した上で、本時で扱う係数に小数や分数を含む連立方程式を提示し、生徒との対話を通して、前時までとの違いを丁寧に確認するなど、生徒の状況に合わせた学習が展開されました。

生徒の発言をもとに授業を進めることを心掛け、係数が小数の連立方程式の解き方を考える際、生徒から「同じ数をかける」という発言が出た際、「同じ数ってどんな数？」と問い返し、不十分な発言は、生徒の言葉で補うことができるよう促し、生徒が主体的に学ぶことができる雰囲気を作り上げていました。

また、教壇では常に明るい笑顔を生徒に向け、一人一人が安心して授業に臨むことができる学級づくり・授業づくりがなされていました。

今後も生徒とともに創る授業づくりを行い、生徒の数学的に考える資質・能力の育成に努めてくれることを期待しています。

